

平成27年度 事業報告書

平成27年度における重要無形文化財人形浄瑠璃文楽の伝承及び普及事業等の実施にあたっては、文化庁、大阪府並びに日本芸術文化振興会（国立文楽劇場）等の関係諸団体との連携・協力をさらに密接にしながら、公演事業への取り組み強化、伝承事業の充実に努めた。

中でも、大阪（国立文楽劇場）・東京（国立劇場）での本公演を始め、協会の自主公演である地方公演及びその他の特別公演等の実施にあたっては、これまでの実績を活かし、より充実した公演活動に努めた。

特に地方公演については、芸術文化振興基金等の助成制度を積極的に活用して、所期の事業成果を収めた。

さらに、文楽の普及啓発と国立文楽劇場への誘客を図るための試みとして、国立文楽劇場及び阪急百貨店との三者共催で阪急うめだ本店において「文楽の世界」展と銘打って13日間にわたり文楽人形、小道具等の展示、短時間の文楽公演等を実施し、当初の目標来場者数を大幅に上回る成果を収めた。

1. 公演事業

（1）本公演（国立文楽劇場、国立劇場主催）

国立文楽劇場及び国立劇場主催の本公演は、大阪・東京を併せて136日（306回）であった。

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大 阪 (国立文楽劇場)	4/4～26	22 日 44 回	23,435人
	7/18～8/3	17 日 51 回	22,634人
	10/31～11/23	23 日 46 回	19,646人
	(H28) 1/3～26	23 日 46 回	23,323人
計		85 日 187 回 (85 日 187 回)	89,038人 (98,332人)

東京 (国立劇場)	5/9～25	17日 34回	17,632人
	9/5～21	17日 34回	17,091人
	(H28) 2/6～2/22	17日 51回	22,091人
計		51日 119回 (51日 136回)	56,814人 (63,170人)
合 計		136日 306回 (136日 323回)	145,852人 (161,502人)

(2) 地方公演 (文楽協会主催)

地方公演は、秋季及び春季に全国各地を巡演し、延べ22日間にわたり42回公演し、広く全国各地の文楽愛好家等の期待に応えた。

() 内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
近畿・北海道 東北・関東 東海・北陸	9/26～10/12	10日 20回	9,136人
近畿・中国 九州・関東 東海・北陸	(H28) 2/27～3/21	12日 22回	9,436人
合 計		22日 42回 (29日 59回)	18,572人 (24,966人)

(3) 青少年を対象とした公演 (国立文楽劇場・国立劇場主催、大阪市委託)

青少年を対象とした公演は、国立文楽劇場及び国立劇場主催の「文楽鑑賞教室」を大阪(14日28回)・東京(13日24回)で実施したほか、同じく国立文楽劇場及び国立劇場主催による若手技芸員を中心とした「若

手公演」を大阪（２日２回）・東京（１５日１５回）で実施した。

さらに大阪市委託事業である「小・中学生のための芸術体験授業」公演を開催し、青少年を中心とした文楽の普及活動等に努めた。

①文楽鑑賞教室（国立文楽劇場・国立劇場主催）

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大 阪 (国立文楽劇場)	6/5～18	14 日 28 回	20,588人
東 京 (国立劇場)	12/2～14	13 日 24 回	13,132人
合 計		27 日 52 回 (27 日 52 回)	33,720人 (32,487人)

②若手公演（国立文楽劇場・国立劇場主催）

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大 阪 (国立文楽劇場)	6/20～21	2 日 2 回	1,336人
東 京 (国立劇場)	6/27～28	2 日 2 回	1,085人
東 京 (国立劇場)	12/2～14	13 日 13 回	6,978人
合 計		17 日 17 回 (17 日 17 回)	9,399人 (9,495人)

③「小・中学生のための芸術体験授業」公演（大阪市委託事業）

（ ）内は、前年度実績

公 演 地	期 間	日数・公演数	観 客 数
大阪市内 小・中学校	11/25・(H28)2/24 ・2/25・26・29・ 3/1・2・3	8 日 8 回 (7 日 7 回)	2, 4 7 8 人 (2, 1 5 0 人)

（４）特別公演事業

京都ギオンコーナーへの出演を始め、中日劇場、内子座（愛媛県）、博多座のほか、にっぽん文楽プロジェクト大阪公演など大小２２件の公演等を実施した。

①国内の主な特別公演事業

（ ）内は、前年度実績

公 演 名	期 間	日数・公演数	観 客 数
京都 ギオンコーナー	4/1～11/30 (H28)3/11～3/31	2 6 3 日 (259 日)	7 3, 7 0 7 人 (5 7, 5 3 4 人)
中日劇場	5/30～31	2 日 4 回 (2 日 4 回)	3, 3 5 3 人 (3, 2 1 4 人)
中之島文楽	6/14～16	3 日 3 回	1, 6 3 0 人
内子座	8/22～23	2 日 4 回	1, 7 3 9 人 (1, 8 2 0 人)
文化庁・巡回公演	9/28～10/8	7 日 7 回	2, 1 4 9 人
にっぽん文楽プロ ジェクト（大阪）	10/17～20	4 日 8 回	2, 8 0 2 人

日経文楽の夕べ	11/26	1日 1回	950人 (1,000人)
博多座	12/19～20	2日 4回	3,966人 (3,988人)
ヴィアール大阪	(H28)3/20	1日 2回	584人

2. 伝承事業

本年度の契約技芸員数及び内訳は、次のとおりである。

契約技芸員数	太夫	三味線	人形
88名	24名	21名	43名

技芸の伝承・向上を目的として、師匠・弟子間の研修・指導に重点をおいた取り組みを推進するとともに、技芸員の舞台活動を支援するために舞台活動に必要な着付、黒衣、三味線等の購入等に際し助成を行った。

また当協会・国立文楽劇場が連携して若手技芸員による自発的な勉強会の開催に対して積極的な協力・助成を行った。

さらに、真摯な舞台を務め、技芸の向上が著しい若手技芸員に対し文楽協会賞を贈った。

(1) 若手技芸員発表会

平成27年8月4日 蝠聚会（国立文楽劇場小ホール）

(2) 文楽協会賞表彰

3名 （竹本小住太夫、豊澤龍爾、桐竹勘次郎）

3. 後継者育成事業

文楽の技芸員を目指して独立行政法人日本芸術文化振興会の文楽研修生として2年間の研修を受ける者に対して、助成を行った。

- ・研修生に養成貸付金（3名 180万円）の貸与を行った。
- ・研修生から技芸員となった者に奨励金（3名 216万円）を支給した。

4. 普及啓発事業

これまで文楽に馴染みの少なかった人達に、文楽を知ってもらい親しんでもらうため、さらに国立文楽劇場への誘客を図るため、7月に阪急うめだ本店で開催した「文楽の世界」展において普及啓発事業として三業の役割解説や短時間の文楽公演を集中的に実施した。

- ・普及啓発事業

実 施 場 所	公 演 日
阪急うめだ本店・うめだギャラリー、うめだホール（大阪市北区）	7/1・2・3・4・5・7・ 8・9・11・12・13
道頓堀・戎舞台（大阪市中央区）	(H28)1/9

【 附属明細書 】

事業報告書に詳細まで記載しているため、記載する事項はありません。